

芝生適用登録除草剤(土壌処理剤)

2020.2.12(20-1)
ゴルフ場防除技術研究会

[登録順]

商品名	ダイヤモンド水和剤	シマジフロアブル	グラメックス水和剤	ウェイアップフロアブル	ディクトラン乳剤	イデトップフロアブル	
一般名	クロルフラリム	CAT	シアナジン	ベンディメタリン	ジチオピル	トリアジフラム	
有効成分含有量	50%	42%	50%	45%	32%	30%	
メーカー	(原体)	日本農薬	シンジェンタ	アグロカネショウ	BASF	ダウ・アグロサイエンス	
	(登録)	サンケイ化学	シンジェンタ	アグロカネショウ	BASF	ダウ・アグロサイエンス	出光興産
試験名	MK-616、NHK-072		SKH-01	ベンディメタリンSCフロアブル	MON-151	IDH-1105	
登録年月日	昭和56年6月29日	昭和53年6月22日	昭和58年3月29日	昭和63年2月16日	平成3年4月1日	平成9年11月4日	
登録番号	14638	13952	15443	16959	17811	19758	
登録上	作物名	日本芝(コウライ)、西洋芝(ベントグラス)	日本芝、ティフトン	日本芝	日本芝、西洋芝(パーミュダグラス)	日本芝、西洋芝(ケンタッキーブルーグラス)	日本芝
	雑草	一年生雑草、コケ類	畑地一年生雑草	一年生雑草	畑地一年生雑草(キク科雑草を除く)	日本芝:一年生雑草・一年生イネ科雑草・ヤハズソウ、西洋芝:一年生雑草	一年生雑草
	使用時期	一年生雑草:春季雑草発生前・秋季雑草発生前、コケ類:秋末期芝生育期(コケ類生育期)	雑草発生前	春期雑草発生前、秋冬期雑草発生前初期	芝生育期(雑草発生前)	芝生育期(雑草発生前)、春夏期芝生育期(雑草発生前)(イネ科)、春夏期芝生育期(ヤハズソウ)発生前初期	芝生育期(雑草発生前～発生前初期)
	薬量	日本芝:0.4~0.6g(春季)・0.6g(秋季)、西洋芝:0.2~0.6g	0.2~0.3ml/m ²	0.2~0.4g/m ² (春期)、0.05~0.2g/m ² (秋冬期)	0.4~0.9g/m ²	0.075~0.3ml/m ² 、0.075~0.15ml/m ² (イネ科)、0.1~0.2ml/m ² (ヤハズ)	0.075~0.15ml/m ²
	水量	0.2~0.3L/m ²	0.25~0.3L/m ²	0.2~0.3L/m ²	0.2~0.3L/m ²	0.2~0.3L/m ²	0.2~0.3L/m ²
	使用方法	一年生雑草:全面土壌散布、コケ類:雑草茎葉散布	全面土壌処理	全面土壌処理	全面土壌散布	散布	全面土壌散布
急性経口毒性LD50 (mg/kg)	普:ラット♂♀>5,000	普:ラット5,000以上	普:マウス1,028~1,096	普:ラット10,000以上	普:マウス5,000以上	普:マウス・ラット>5,000	
魚毒性TLm (ppm)	コイ386(96h)	コイ440以上	A:コイ34.5以上	B:コイ10.95(原体)	コイ3.15	B:コイ11.2(48h)	
水溶解度	2.15	5	171	0.05	1.38	7.14	
半減期	2.3mg/L(25℃)		13~34日	50日(火山灰砂壤土)	47日(CL)、35日(SL)	6~13日(圃場)	
雑草スペクトラム	一年生雑草、コケ類	イネ科、広葉広範囲	イネ科、広葉広範囲	イネ科、広葉(キク科除く)	一年生イネ科、広葉	一年生イネ科、広葉	
樹木等への影響		無	杉・檜苗木登録有	安全性大	葉害無し	ドリフト注意	
洋芝への影響		ティフトン以外は強	強	(生育抑制)	かなり安全	使用しない	
作用機作	プロトックス阻害	光合成阻害	光合成阻害	細胞分裂阻害及び伸長阻害	根部>幼芽部接触型土壌処理型	根部・幼芽部>茎葉	
効果	発現		1週間前後	3日位			
	完成		約2週間	10日			
	残効		40日±	30~40日	120日	120~180日以上	90~150日程度
	芝安全性				安全性大		日本芝への安全性大
流通	ニチノ一緑化	日産化学、理研グリーン	アグロカネショウ	BASF特約店会	丸和バイオケミカル	ニチノ一緑化、日産化学、出光アグリ	
包装	500g×20	1L×10	200g×50	1L×10	500ml×10	500ml×4	
A価¥/kg.L	7,310	7,550	10,500	10,920	35,400	43,000	
¥/m ²	1.5~4.4	1.5~2.3	0.5~4.2	4.4~9.8	2.7~10.6	3.2~6.5	
備考		水質汚濁性農薬の指定					

芝生適用登録除草剤(土壌処理剤)

2020.2.12(20-1)
ゴルフ場防除技術研究会

[登録順]

商品名	ハイメドウフロアブル	ハブーン乳剤	バイザー水和剤	フルハウスフロアブル	タフラー乳剤80	マックワンフロアブル	
一般名	カフェンストロール	アラクロール	ジチオビル	オキサジクロメホン	ブタミホス	クミルロン	
有効成分含有量	40%	43%	40%	30%	80%	45%	
メーカー	(原体)	エス・ディー・エス	日産化学	ダウ・アグロサイエンス	バイエル、全農	住友化学	丸紅
	(登録)	日産化学	日産化学、理研グリーン	ダウ・アグロサイエンス	バイエル、全農	住友化学	丸紅
試験名	CH-900フロアブル		DAH-981	RYH-105	KNG-941	MAC-1フロアブル	
登録年月日	平成10年10月28日	平成10年12月4日	平成12年6月29日	平成12年8月15日	平成14年3月4日	平成14年7月30日	
登録番号	20053	20059・20060	20396	20411	20781	20861	
登録上	作物名	日本芝、日本芝(コウライシハ)*	日本芝、日本芝(コウライシハ)、西洋芝(ケンタッキーブルーグラス)*	日本芝、西洋芝(ブルーライ)	日本芝	日本芝(コウライ・ヒメコウライ)	西洋芝(ヘント・ブルー・ペレニアルライグラス)
	雑草	一年生イネ科雑草、ヒメグサ*	一年生雑草、ヒメグサ(コウライシハ)	一年生イネ科雑草、一年生雑草	一年生イネ科雑草	一年生雑草(キク科を除く)、ペントグラス、ブルーグラス*	スズメノカタビラ、メシバ
	使用時期	雑草発生前	春夏期雑草発生前、春夏期ヒメグサ発生前～発生前初期・秋冬期雑草発生前(コウライシハ)	春期雑草発生前、秋期雑草発生前	雑草発生前、芝生育期	春期・秋期芝生育期(雑草発生前)、芝生育期*	芝発芽後～生育期(雑草発生前)、芝生育期(雑草発生前)
	薬量	0.25～0.5ml/m ²	0.6～1.0ml/m ² 、0.6～1.2ml/m ² (コウライシハ)	春期0.05～0.1g/m ² 、秋期0.05～0.2g/m ²	0.075～0.15ml/m ²	イネ科春期0.3～0.6、秋期0.35～0.55ml/m ² 、ヘント・ブルー*0.6～1.2ml/m ²	1～2ml/m ²
	水量	0.2～0.3L/m ²	0.25L/m ² 、0.2～0.3L/m ² *	0.2～0.3L/m ²	0.2～0.3L/m ²	0.25～0.3L/m ²	0.2～0.3L/m ²
	使用方法	全面土壌散布	全面土壌散布	全面土壌処理	全面土壌散布	土壌全面散布	全面土壌処理
急性経口毒性LD50 (mg/kg)	普:ラット・マウス>5,000	普:ラット1,000(製剤)	普:ラット♂♀>5,000	普:ラット・マウス>5,000	普:ラット♂1,070・♀845	普:マウス・ラット>5,000	
魚毒性TLm (ppm)	B:コイ3.8(96h)	B:コイ10.4(96h)(製剤)	コイ55(48h)	コイ>1,000	B:コイ2.39	A:コイ>50(96h)	
水溶解度	2.5(20℃)		1.38	0.15	6.2	0.879(クミルロン)	
半減期							
雑草スペクトラム	一年生イネ科雑草>広葉雑草(キク科を除く)	一年生雑草、ヒメグサ(コウライシハ)	一年生イネ科、広葉	一年生イネ科	キク科を除く一年生	カヤツリ科	
樹木等への影響	特になし	特になし(直接散布を避ける)	安全性大	安全性大		特になし	
洋芝への影響	使用しない	薬害の恐れ有り	かなり安全	薬害おそれ有り	使用しない	薬害無し	
作用機作	細胞分裂阻害	脂肪酸生合成阻害	細胞分裂の阻害	ジベレリン生合成阻害他	細胞分裂の阻害	根部の細胞分裂及び細胞成長阻害	
効果	発現						
	完成						
	残効	100日程度	約60日	120～180日以上	120日以上	90～180日程度	
	芝安全性	日本芝への安全性大	日本芝には安全	安全性大	安全性大	日本芝・洋芝への安全性大	
流通	日産化学	日産化学、理研グリーン	丸和バイオケミカル	バイエル	レインボー薬品	各地域代理店	
包装	500ml×12	500ml×20、1L×10	500g×4	500ml×2	1L×10	1L×6	
A価¥/kg.L	10,500	4,300	45,800	39,000	9,030	50,000	
¥/m ²	2.6～5.3	2.6～5.2	2.3～9.2	2.9～5.9	2.7～10.8	50～100	
備考	根に影響が少なく芝張り直後使用可						

芝生適用登録除草剤(土壌処理剤)

2020.2.12(20-1)
ゴルフ場防除技術研究会

[登録順]

商品名	ウェーブ顆粒水和剤	エイゲン水和剤	クサブロック	バリケードフロアブル	ラボストフロアブル	クサレス顆粒水和剤	
一般名	カフェンストロール レナシル	ピリプチカルブ	プロジアミン	プロジアミン	カフェンストロール	ナプロバミド	
有効成分含有量	45% 25%	47%	65%	40.7%	40%	51%	
メーカー	(原体) エス・ディー・エス、デュボン (登録) クミアイ化学、理研グリーン	日本曹達	シンジェンタ	シンジェンタ	エス・ディー・エス	ユーピーエル	
試験名	KUH-007	TSH-888(水和)、RC-8602(47%本剤)	プロジアミン顆粒水和	SYJ-194	GH-900フロアブル	ナプロバミド顆粒水和剤	
登録年月日	平成15年12月3日	平成17年8月3日	平成19年8月1日	平成19年12月26日	平成20年1月23日	平成20年11月19日	
登録番号	21138・21139	21528	21998	22082	22097	22294・22295	
登録上	作物名	日本芝、日本芝(コウライ)	日本芝、西洋芝(ペント・ブルー)	日本芝、西洋芝(ペント・ブルー・ハムマー)	日本芝、西洋芝(ハムマーグラス)	日本芝、日本芝(コウライシハ)*	日本芝
	雑草	一年生雑草、ヒメクグ(コウライ)	一年生イネ科雑草	一年生雑草全般(キク科除く) *一年生イネ科雑草	一年生雑草(キク科を除く)	一年生イネ科雑草、ヒメクグ*	一年生イネ科雑草
	使用時期	雑草発生前～生育初期(3葉期まで)、春夏期芝生育期(ヒメクグ発生前～発生前)	芝生育期(雑草発生前)	春・夏・秋期雑草発生前(芝生育期)	秋冬期雑草発生前、西洋芝・春夏期雑草発生前	雑草発生前	雑草発生前
	薬量	0.2～0.4g/㎡	0.75～1.5g/㎡	0.12～0.24g/㎡、 0.08～0.1g/㎡(春期雑草発生前)、 0.08～0.16g/㎡(秋期雑草発生前)	春夏0.125～0.25ml/㎡、 秋冬0.14～0.26ml/㎡(日本芝)、 0.18～0.26ml/㎡(西洋芝)	0.25～0.5ml/㎡	0.4～0.6g/㎡
	水量	0.2～0.3L/㎡	0.2～0.25L/㎡	0.2～0.3L/㎡	0.2～0.3L/㎡	0.2～0.3L/㎡	0.2～0.3L/㎡
	使用方法	全面土壌処理	散布	全面土壌処理	全面土壌散布	全面土壌散布	全面土壌散布
急性経口毒性LD50 (mg/kg)	普:ラット>2,000	普:マウス5,000以上	普:マウス15,000以上	普:ラット♂♀>5,000	普:ラット>5,000	普:ラット5,000以上	
魚毒性TLm (ppm)	A:コイ3.62(LC50)	A:コイ11以上	コイ>40以上(原体)	コイ139(96h)	B:コイ3.8(96h)	A:コイ12(原体)	
水溶解度	2.4(カフェンストロール)、6(レナシル)	0.32	0.03	0.03	2.5(20℃)	73	
半減期	4～11日(カフェンストロール)約30日(レナシル)					約60日	
雑草スペクトラム	イネ科、広葉	一年生イネ科	一年生イネ科、広葉	一年生イネ科・広葉(キク科を除く)	一年生イネ科雑草>広葉(キク科を除く)	イネ科	
樹木等への影響	一部樹種に影響有	薬害無し	薬害無し	薬害無し	特になし	安全性大	
洋芝への影響	寒地芝へは影響有	ペント・ケンタッキー安全		安全	使用しない	薬害強	
作用機作	タンパク質合成阻害(カフェンストロール)、 光合成阻害(レナシル)	根部>基部>茎葉吸収移行型、 土壌処理型	吸収根部土壌処理型、細胞分裂阻害	土壌処理型、細胞分裂阻害	細胞分裂阻害	細胞分裂阻害	
効果	発現						
	完成						
	残効	90～120日	90日以上	150～180日以上	150～180日	100日程度	90～120日
	芝安全性	日本芝・ハムマーグラスに安全				安全性大(日本芝)	安全性大
流通	理研グリーン	ニッソーグリーン	シンジェンタ特約店	シンジェンタ特約店	丸和バイオケミカル	ニチノ一緑化	
包装	500g×10	500g×20	250g×10	500ml×10	500ml×12	1kg×10	
A価¥/kg.L	17,396	11,550	37,000	21,400	10,500	9,800	
¥/㎡	3.5～7	8.7～17.3	3～8.9	2.7～5.6	2.6～5.3	3.9～5.9	
備考	ハイド・ウ・レンガーの混合剤、処理適期が広い	殺菌剤の登録も有り	グリーンでは使用しない	グリーンでは使用しない	根に影響が少なく芝張り直後使用可	製剤変更	

芝生適用登録除草剤(土壌処理剤)

2020.2.12(20-1)
ゴルフ場防除技術研究会

[登録順]

商品名	サーフランドF	フェナックスフロアブル	コンクールド顆粒水和剤	ウィードロック	シバッチ乳剤	カーブSC	
一般名	オリザリン	オキサジアルギル	フルボキサム	オリザリン	S-メトラクロール	プロピザミド	
有効成分含有量	85%	35.4%	50%	15%	83.7%	36%	
メーカー	(原体)	ユーピーエル	バイエル	日本曹達	ユーピーエル	シンジェンタ	ダウ・アグロサイエンス
	(登録)	ユーピーエル	バイエル	日本曹達	丸和バイオケミカル	シンジェンタ	ダウ・アグロサイエンス
試験名	DEH-94T01	RYH-106	DH-024	HPW-103	SYJ-111乳剤	DAH-0712	
登録年月日	平成21年1月21日	平成21年6月10日	平成21年5月27日	平成22年4月21日	平成22年10月13日	平成23年7月20日	
登録番号	22316	22393	22375	22671	22791	22946	
登録上	作物名	日本芝	日本芝、日本芝(コウライシバ)	日本芝、西洋芝(パーミューダグラス)	日本芝(生産圃場、ゴルフ場)	日本芝、日本芝(シバ・コウライ・ヒメコウライ)	日本芝
	雑草	畑地一年生雑草	一年生雑草、張芝の根の生育促進(コウライシバ)	一年生雑草	一年生雑草	一年生雑草、ヒメクグ(コウライ)	一年生雑草、スズメノカタビラ
	使用時期	雑草発生前(芝生育期)	雑草発生前(芝生育期)、張芝後(コウライシバ)	雑草発生前	芝生育期雑草発生前	雑草発生前、ヒメクグ発生前～発生初期	雑草発生前、芝生育期(秋冬期スズメノカタビラ発生初期)
	薬量	0.1～0.2g/㎡	0.1～0.2ml/㎡	0.15～0.3g/㎡	0.6～0.8ml/㎡	0.2～0.4ml/㎡	0.4～0.6ml/㎡
	水量	0.2～0.3L/㎡	0.2～0.3L/㎡	0.2～0.3L/㎡	0.2～0.3L/㎡	0.2～0.3L/㎡	0.2～0.3L/㎡
	使用方法	全面土壌散布	全面土壌散布	全面土壌処理	全面土壌散布	全面土壌散布	全面土壌散布
急性経口毒性LD50 (mg/kg)	普:ラット・マウス5,000以上	普:ラット♀>2,005	普:ラット♀>2,000	普:ラット>5,000	普:ラット♂5,000・♀2,515(LD50)、ウサギ♂♀>2,000(LD50)	普:>5,000	
魚毒性TLm (ppm)	B:コイ118	コイ>120	コイ4.2	A:コイ>1,000	A:コイ9.3(LC50)(96h)、ミジンコ9.3(EC50)(48h)	コイ5.73(96h)	
水溶解度	2.6(25℃)	0.37	2.42	2.6(20℃)	480(25℃)		
半減期	23～50日(圃場)			23～50日(圃場)			
雑草スペクトラム	一年生イネ科、広葉	一年生イネ科及び広葉	一年生雑草	一年生イネ科、広葉	イネ科、カヤツリ科、広葉	イネ科、広葉(キク科を除く)	
樹木等への影響	安全性大	安全性大(ツツジ、サツキは直接散布避ける)	春先の新梢展開時は注意	安全性大	安全性大(フジは直接散布を避ける)		
洋芝への影響	使用しない	薬害おそれ有り	安全性大	使用しない	薬害のおそれあり	強	
作用機作	細胞分裂阻害	光要求型・土壌処理剤	細胞壁の合成を阻害	細胞分裂阻害	超長鎖脂肪酸生合成阻害	細胞分裂阻害、土壌処理型	
効果	発現						
	完成						
	残効	90～120日(春)、150～180日(秋)	120日程度	120日以上(春)、180日以上(秋)	90～120日(春)、150～180日(秋)	約60日	120日
	芝安全性	日本芝に安全性大	安全性大	日本芝への安全性大	日本芝に安全性大		
流通	ユーピーエルジャパン	バイエルクロップサイエンス	ニッソーグリーン	丸和バイオケミカル	シンジェンタ特約店	丸和バイオケミカル	
包装	500g×10	500ml×6	500g×10	1L×12	1L×6	1L×10、5L×4	
A価¥/kg.L	44,000	29,000	22,000	4,500	7,000	11,200	
¥/㎡	4.4～8.8	2.9～5.8	3.3～6.6	2.7～3.6	1.4～2.8	4.5～6.7	
備考		芝張り直後に使用可能					

芝生適用登録除草剤(土壌処理剤)

2020.2.12(20-1)
ゴルフ場防除技術研究会

[登録順]

商品名	スペクタクルフロアブル	アビシテムフロアブル	スパーダ顆粒水和剤	ポアキュア	プロバイドEC	ソリストSC	
一般名	インダジフラム	エトベンザニド	フェノキサスルフォン	メチオゾリン	IPC	ピロキサスルホン	
有効成分含有量	19.1%	35%	75.0%	25%	50%	36.3%	
メーカー	(原体)	バイエル	保土谷化学工業	クマイイ化学	Moghu Research Center	保土谷化学	クマイイ化学
	(登録)	バイエル	理研グリーン	理研グリーン	エス・ディー・エス	保土谷化学	理研グリーン
試験名	BEH-507	HPW-106	KUH-114	SB-201	HPW-112	RGH-1302	
登録年月日	平成24年4月6日	平成24年10月24日	平成26年5月16日	平成28年7月1日	平成28年7月6日	平成28年7月6日	
登録番号	23066	23149	23472	23809	23812	23810・23811	
登録上	作物名	日本芝	西洋芝(ヘントグラス)、日本芝(コウライシハ)	日本芝*、西洋芝(バーミューダ)**、日本芝(コウライシハ)***	西洋芝(ヘントグラス・ケンタッキーブルーグラス)、日本芝(コウライシハ)	日本芝	日本芝、センチビードグラス*
	雑草	一年生雑草	メヒシバ	一年生イネ科雑草**、メヒシバ**、ヒメクグ***	スズメノカタビラ、一年生イネ科雑草	スズメノカタビラ、一年生雑草*	一年生雑草
	使用時期	雑草発生前	芝生育期(メヒシバ発生前～発生初期)	芝生育期(雑草発生前)*、一年生イネ科雑草・秋冬期芝生育期(雑草発生前)**、春夏期芝生育期(メヒシバ発生前**・ヒメクグ発生前～発生初期***)	春夏期雑草生育期(スズメノカタビラ)、春夏期雑草発生前・秋冬期雑草発生前～発生初期・雑草発生前(イネ科)	秋期芝生育期(スズメノカタビラ3葉期まで)、秋冬期芝生育期(雑草発生前～発生初期)*	秋期芝生育期(雑草発生前～発生初期)、センチビードグラス生育期(雑草発生前)*
	薬量	0.02～0.03ml/m ²	1.0～2.0ml/m ²	0.15～0.3g/m ²	0.2～0.4ml/m ²	0.4～0.8ml/m ²	0.1～0.2ml/m ² 、0.15～0.3ml/m ² *
	水量	0.2～0.3L/m ²	0.1～0.2L/m ²	0.2～0.3L/m ²	0.2～0.3L/m ²	0.2～0.3L/m ²	0.1～0.3L/m ²
	使用方法	全面土壌散布	雑草茎葉散布又は全面土壌散布	全面土壌散布	全面土壌散布	全面土壌処理	全面土壌散布
急性経口毒性LD50 (mg/kg)	普:ラット♀≥5,000	普:ラット2,000	普:ラット♀>2,000	普:ラット>2,000	普:ラット>2,000	普:ラット♀>2,000	
魚毒性TLm (ppm)	コイ4.74(製剤)(96h)	コイ>1,000	コイ>1,000(96h)	コイ3.605(96h)	コイ23(96h)(製剤)	コイ>1,000(96h)	
水溶解度		0.923mg/L(25℃)	0.17mg/L(20℃)		103mg/L	3.48mg/L(20℃)	
半減期			22～36日(土壌中)		46～68日(圃場)	5.1～27.5日(土壌中)	
雑草スペクトラム	一年生雑草	メヒシバ	一年生イネ科雑草、メヒシバ	スズメノカタビラ、一年生イネ科雑草	一年生雑草全般(キク科除く)	一年生雑草	
樹木等への影響	低い	なし	安全性高い	安全性大		安全性高い	
洋芝への影響	影響強い	安全性高い	影響小(直接散布しない)	安全性高い	使用しない	影響大	
作用機作	セルロース生合成阻害	タンパク質生合成阻害	VLCFAE阻害剤	細胞壁生合成阻害	細胞分裂の阻害	VLCFAE阻害剤	
効果	発現		1～2週間		遅い		
	完成		1ヶ月		遅い		
	残効	150～180日(秋)、90～120日(春)	40～45日	100～120日		90～120日	100～120日
	芝安全性	日本芝に対する安全性大	安全性高い	日本芝、バーミューダグラスに安全	安全性高い	日本芝に安全	日本芝に安全
流通	バイエルクロップサイエンス	理研グリーン	理研グリーン	出光アグリ、丸和バイオケミカル	丸和バイオケミカル	理研グリーン	
包装	250ml×2	1L×6	500g×8	100ml×10	1L×12	500ml×4	
A価¥/kg.L	180,000	17,000	24,000	129,000	3,200	39,500	
¥/m ²	3.6～5.4	17～34	3.6～7.2	25.8～51.6	1.3～2.6	4～11.9	
備考							

芝生適用登録除草剤(土壌処理剤)

2020.2.12(20-1)
ゴルフ場防除技術研究会

[登録順]

商品名	ロングパワー顆粒水和剤	イマゾーン	アダッシュ顆粒水和剤	レンザー	
一般名	オキサジクロメホン	イマゾスルフロン オキサジクロメホン	プロピザミド	レナシル	
有効成分含有量	48%	18% 12%	50%	80%	
メーカー	(原体) 全農 (登録) 全農	住友化学、全農 レインボー薬品	ユーピーエル ユーピーエル	FMC FMC	
試験名		SG-115	UPH-003	H-634	
登録年月日	平成29年4月12日	平成30年6月13日	平成31年4月10日	令和1年12月24日	
登録番号	23936	24084	24218	24143	
登録上	作物名	日本芝	日本芝	日本芝(コウライシハ)	
	雑草	一年生イネ科雑草	一年生雑草	一年生雑草	
	使用時期	雑草発生前・芝生育期	秋冬期芝生育期(雑草発生前)	芝生育期(雑草発生前～発生初期)	秋期雑草発生前
	薬量	0.075～0.125g/m ²	0.2～0.4ml/m ²	0.3～0.5g/m ²	0.2～0.25g/m ²
	水量	0.2～0.3L/m ²	0.2～0.3L/m ²	0.2～0.3L/m ²	0.25～0.3L/m ²
	使用方法	全面土壌散布	全面土壌散布	全面土壌散布	全面土壌散布
急性経口毒性LD50 (mg/kg)	普:ラット・マウス>5,000	普:ラット>2,000	普:ラット5,000以上	普:ラットσ>11,000	
魚毒性TLm (ppm)	コイ>1,000(LC50)(製剤)(96h)	コイ>1,000	コイ336(96h)	A:コイ>1,000	
水溶解度	0.15	155.6、0.15(20℃)	11	3	
半減期		約1日、2.10～2.16日	2.9～7.7日	約30日	
雑草スペクトラム	一年生イネ科雑草	一年生雑草	一年生イネ科、広葉	イネ科、広葉広範囲	
樹木等への影響	安全性大	ドリフト注意		花木に登録有	
洋芝への影響	薬害の恐れ有り	寒冷地型芝生には薬害	薬害のおそれあり	強	
作用機作	ジベレリン生合成阻害他	ALS阻害、ジベレリン代謝阻害	微小管重合阻害	光合成阻害及び 酵素タンパク質合成阻害	
効果	発現		遅い	約3日	
	完成		遅い	約2週間	
	残効	120日以上	120日以上	60～80日(春)、90～120日(秋)	約90日
	芝安全性	安全性大	安全性大	日本芝に対して安全性が高い	
流通	丸和バイオケミカル	レインボー薬品	シンジェンタ	丸和バイオケミカル	
包装	500g×4	500ml×8	1kg×10	100g×60	
A価¥/kg.L	40,000	15,000	8,600	18,400	
¥/m ²	3～5	3～6	2.6～4.3	3.7～4.6	
備考				薬量は控え目に!	